

2023.3.1

DanceBaseYokohama

## DaBYアーティストックディレクターの唐津絵理が 令和4年度芸術選奨文部科学大臣賞 芸術振興部門 大臣賞を受賞

この度、「Dance Base Yokohama (ダンスベースヨコハマ)」(通称 DaBY/デイビー)のアーティストックディレクターを務める唐津絵理(愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー)が、令和4年度芸術選奨文部科学大臣賞の芸術振興部門にて大臣賞を受賞いたしました。芸術選奨は文化庁が毎年度、芸術各分野において優れた業績を挙げた方、又は新生面を開いた方を選奨するもので、各部門において大臣賞、新人賞が贈られます。

Dance Base Yokohamaは、今後も、愛知県芸術劇場、また皆様との協働や連携強化により、さらなるダンスや舞台芸術の振興・発展に向けて活動を続けてまいります。

### 【贈賞理由】

唐津絵理氏は、公共劇場でプロデューサーとして活動を行い、さらに令和二年に民間支援による新しいダンスハウス「Dance Base Yokohama」の立ち上げに参画、これらの連携の成果として令和四年は「愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2022」の全国ツアーを行い、ダンスの多様性を示し高く評価された。氏は、アーティストの自立的な活動を支援し、可能性を引き出すために、安全安心な制作環境を整えようと活動を始めた。また創客の視点から、舞台芸術の批評眼を持った新たな観客を生み出すことにも力を入れてきた。これらの活動は芸術振興の意味や方法を改めて問い直す契機ともなった。ダンスに止まらない芸術の創造と振興・支援施策のあり方両面に影響を与える重要な取り組みを牽引してきた存在である。

### 【プロフィール】

#### 唐津絵理

(愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー/DaBYアーティストックディレクター)



©TakayukiAbe

熊本県出身。お茶の水女子大学文教育学部卒業及び同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センター勤務。2014年より愛知県芸術劇場プロデューサー。2000年第一回アサヒビール芸術賞受賞。2010年~2016年あいちトリエンナーレのキュレーター(パフォーミングアーツ部門)。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、セガサミー文化芸術財団理事等の民間企業の理事やメセナ活動のアドバイザー、大学の非常勤講師、助成財団やコンクールの審査員等を務める。パフォーミングアーツの幅広い分野で、実験的作品から国際共同製作まで多数のプロジェクトを企画プロデュースする一方で、健全な舞台芸術環境の整備のための様々な実験と提言を行う。ディレクションしたDaBYが2020年度グッドデザイン賞受賞。著書に「身体の知性」等。